

報道関係各位

丸の内イルミネーション実行委員会
三菱地所株式会社
三菱地所プロパティマネジメント株式会社

約1.2kmにおよぶ丸の内仲通りがオリジナルカラーのシャンパンゴールドに光輝く

「丸の内イルミネーション2015」

2015年11月12日(木) 17:00～ 点灯開始

丸の内エリアでは、冬の風物詩として街を彩る恒例のイベント「丸の内イルミネーション2015」(主催:丸の内イルミネーション実行委員会)が、2015年11月12日(木)よりスタート。今年で開業10周年を迎える東京ビルTOKIAでは、開業日にちなみ11月11日(水)より先行点灯します。

今年で14年目を迎える「丸の内イルミネーション」は、丸の内エリアの企業・店舗や近隣のオフィスワーカー、来街者の交流を生み出す空間である街のメインストリート、丸の内仲通りを中心に開催。2015年11月12日(木)^{※1}～2016年2月14日(日)の期間中、有楽町と大手町をつなぐ約1.2kmにおよぶ丸の内仲通り沿いの街路樹等約200本が、上品に輝く丸の内オリジナルカラー「シャンパンゴールド」のLED約100万球で、クリスマスシーズンのきらめく街並みを演出します。

本イルミネーションでは、従来品と比べ1球当たりの消費電力を65%削減^{※2}する「エコイルミネーション」により、エネルギー使用量を削減し高効率化を実現してきましたが、昨年より1球あたりの使用電力をさらに30%カットする「NEWエコイルミネーション」を一部に採用。今年も昨年同様に、丸の内ブリックスクエア前から丸ビル前まで約38万球を導入し、従来の明るさや輝きは変わらずに、消費電力を一層抑えます。

また、期間中に使用するすべてのエネルギーには、太陽光や風力などの自然エネルギー発電されたグリーン電力を使用、環境を大切にしたい地球に最もやさしいイルミネーションで、約100日間冬ならではの夜景をお楽しみいただけます。

その他、丸の内エリアではクリスマスツリーの点灯式やクリスマス装飾、関連イベントなどを行う予定です。(詳細情報は、後日リリース予定)

※1 東京ビルTOKIAのみ、11月11日(水)より先行点灯

※2 LED電球1球あたり(2009年度使用のLED電球との比較)



丸の内イルミネーション過去開催時の様子

<本件に関する一般の方のお問合せ先>

丸の内コールセンター TEL:03-5218-5100 (11:00～21:00)
※但し、日曜・祝日は20:00まで(連休の場合は最終日のみ20:00まで)

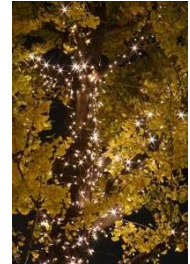
《丸の内イルミネーション2015 概要》

- 主催 : 丸の内イルミネーション実行委員会(以下の団体で組成)
 東京都、千代田区、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、
 NPO法人大丸有エリアマネジメント協会
- 協力 : 三菱地所株式会社
- 企画制作 : 三菱地所プロパティマネジメント株式会社
- 実施期間 : 2015年11月12日(木)～2016年2月14日(日) 95日間(予定)
 ※東京ビルTOKIAは、11月11日(水)より先行点灯
- 点灯時間 : 17:00～23:00(予定) ※12月は、24:00まで点灯予定
- 場所 : 丸の内仲通り 他
- 電球数 : 約100万球 シャンパンゴールド(LED) ※丸の内オリジナルカラー (2007年より同色)

【NEWエコイルミネーションとは】

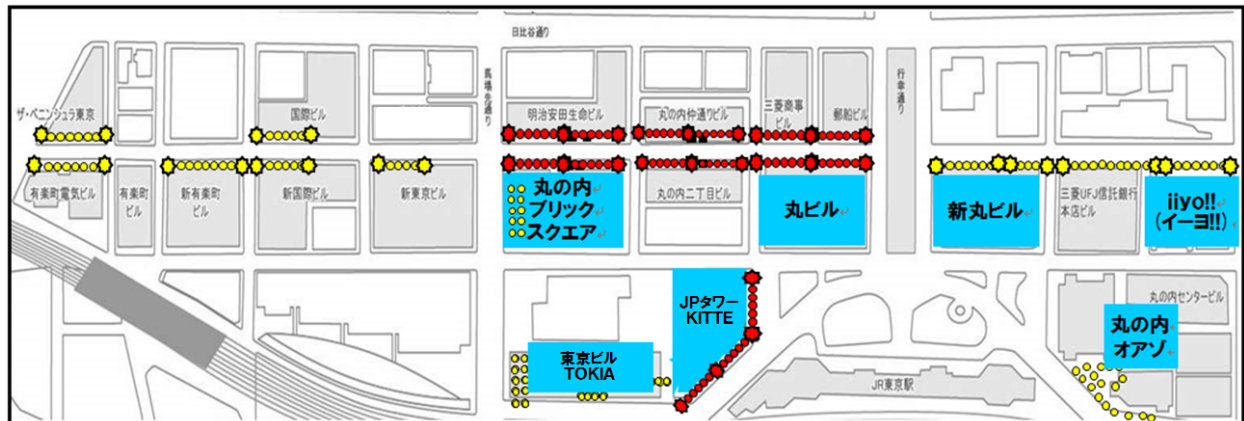
従来型LED電球の電力をコントロールすることで、使用電力を約65%削減しながら同等の明るさを得ることに成功した「エコイルミネーション」のエネルギー消費をさらに低減し、高効率化を実現した新モデル。

⇒輝き、きらめきは従来のエコイルミネーションのまま、消費電力の約30%削減を実現。
 昨年度に引き続き、約38万球を丸の内ブリックスクエア前～丸ビル前、及びJPタワーKITTE前に導入予定。



NEWエコイルミネーション
(イメージ)

【丸の内イルミネーション2015 開催マップ】



- NEWエコイルミネーション ● エコイルミネーション

《丸の内仲通りの特色》

- ・1890年に始まる丸の内開発の中で、約1.2kmのメインストリート「丸の内仲通り」は、1960年代から、一体的整備が進み、日本を代表するビジネス街に相応しい、幅員21mの整然とした街路が誕生しました。その後、2002年の改修によって歩道が7mに広げられ、緑豊かな石畳の「人が中心の空間」へと転換。かつて金融店舗などが主だった「通過する道路」は、多彩な店舗で賑わう「快適な交流空間」へと進化し、オフィス就業者23万人と来街者の憩いの場、様々なイベントのステージとなり賑わっています。
- ・街路空間を一変した「都市の居間」というリノベーションコンセプトとデザイン、公民連携でのエリアマネジメント運営が高く評価され、「土木学会デザイン賞最優秀賞」(2013年)、「グッドデザイン賞」(2014年)、「都市景観大賞(大賞の国土交通大臣賞)」(2015年)など、数々の賞を受賞。
- ・上記のような街の主軸となるストリートがあるのは、エリア全体で面開発が続く当地区ならではの特色です。公民連携で一層の公的空間活用に取り組むべく、「丸の内仲通り」は2015年3月に、国家戦略特区の道路占用特例区域認定を受けました。その活用モデル事業(社会実験)の一環として現在、車道の交通規制時間帯を拡げ、「アーバンテラス」というコンセプトのもと、就業者や来街者は楽しむ劇場的空間としてオープンカフェや移動式店舗、様々なイベントが展開されています。(http://www.ligare.jp/model-pj2015/)

